

タイトル…『汐製菓会社の新作1 グミ1』

登場人物

汐（しお）（30代）…汐製菓会社の社長。「面白きことも無き世を面白く」がモットー。奇想天外な菓子商品を発案するのが得意。快活で自由奔放な性格。

塩田（しおだ）（30代）…汐の秘書の女性。真面目で心配性な性格。汐の発想にいつも振り回されているが、実は大のお菓子好きで、そのために製菓会社に就職。

シーン1…オフィスにて

（オフィスの一室。机の上には様々なグミの試作品が散らばっている。汐はソファに座り、手にグミを持ちながら何か考えている。塩田は机の前でメモを取っている。）

汐…「うーん、これだ！ これしかない！」

塩田…「（心配そうに）社長、また何か奇抜な

アイデアを思いついたんですか？」

汐…「そうさ！今回はね、『グミ』だ！それもただのグミじゃない。軍人みたいなポーズをした形のグミを作ろうと思ってるんだ！」

塩田…「軍人みたいな…？（頭を抱えて）それって、お子様やご家族に喜んでいただけませんか？（敬礼ポーズのグミを掲げて）」

汐…「もちろんだとも！見てくれ、この『敬礼グミ』を！（敬礼ポーズのグミを掲げて）」

塩田…「（驚きながら）あの、どうしてまた軍人なんですか？もっと可愛い動物とかの方が…」

汐…「可愛いだけじゃダメなんだよ、塩田くん！今の時代は“強さ”が求められているんだ。人々はグミにも力強さを感じたいに違い

ない！」

塩田…「困惑しつつも」でも、ターゲット層はどうするんですか？子どもたちに受け入れられるかどうか…」

汐「心配ご無用！例えばこの『伏せろグミ』！
（伏せているポーズのグミを見せる）子どもたちはこれを見て、スリルと興奮を感じるだろう！」

塩田…「（心の声）さすが社長：発想がぶっ飛んでる。でも、これが本当に売れるのかしら…？」

シーン 2: 試食会

（試食会の会場。汐と塩田がステージに立ち、目の前には多くの試食者がいる。大人や子ども、外国人観光客などさまざまな人々が集まっている。）

汐：「さあ皆さん、これが我が社の新作『軍人グミ』です！さっそく食べてみてください！」

（観客たちは恐る恐るグミを手に取り、口に運ぶ。すると…）

観客 ㊦（子ども）：「わあ、これ面白い！敬礼してる！」

観客 ㊩（外国人）：「オーマイガー！イッツアメイジング！レディー、アンドソルジャー
トウゲザー！」

観客 ㊪（大人）：「意外と美味しいじゃないか。
しかも形がユニークで笑える！」

塩田：「（驚いて）えっ：まさか、本当にウケてる…？」

汐…「(ニヤリと笑って) どうだ、塩田くん。
人々は驚きと面白さを求めているんだよ！普
通のグミじゃ飽き足りないんだ！」

塩田…「(感心して) 社長の言う通りでしたね
…！」

シーン ☹ オフィスにて (エンディング)
(オフィスを戻ってきた汐と塩田。塩田はま
だ驚いている様子。)

塩田…「社長、本当に驚きました。『軍人グミ』
がこんなにヒットするなんて…！」

汐…「だから言っただろう、塩田くん。『面白
きことも無き世を面白く』ってね！次はもつ
とぶっ飛んだアイデアを考えようじゃない
か！」

塩田…「(笑いながら) もう、これ以上振り回

されないようにしなきゃ…でも、次も楽しみ
です！」

汐：「よし、次は『忍者グミ』だ！どうだ、手
裏剣投げのポーズとか…！」

塩田：「（慌てて）社長、それはまた別の会議
で！」

（二人の笑い声がオフィスに響く中、シーン
がフェードアウト。）

終わり

試食に日本人も混ぜて

ChatGPT

タイトル：『汐製菓会社の新作グミ1』

登場人物

汐（しお）（30代）：汐製菓会社の社長。「面
白きことも無き世を面白く」がモットー。奇
想天外な菓子商品を発案するのが得意。快活

で自由奔放な性格。

塩田（しおだ）（30代）…汐の秘書の女性。真面目で心配性な性格。汐の発想にいつも振り回されているが、実は大のお菓子好きで、そのために製菓会社に就職。

シーン1：オフィスにて

（オフィスの一室。机の上には様々なグミの試作品が散らばっている。汐はソファに座り、手にグミを持ちながら何か考えている。塩田は机の前でメモを取っている。）

汐…「うーん、これだ！ これしかない！」

塩田…「（心配そうに）社長、また何か奇抜なアイデアを思いついたんですか？」

汐…「そうさ！ 今回はね、『グミ』だ！ それもただのグミじゃない。軍人みたいなポーズをした形のグミを作ろうと思ってるんだ！」

塩田…「軍人みたいなの…？（頭を抱えて）それって、お子様やご家族に喜んでいただけませんか？」

汐…「もちろんだとも！見てくれ、この『敬礼グミ』を！（敬礼ポーズのグミを掲げて）」

塩田…「（驚きながら）あの、どうしてまた軍人なんですか？もっと可愛い動物とかの方が…」

汐…「可愛いだけじゃダメなんだよ、塩田くん！今の時代は“強さ”が求められているんだ。人々はグミにも力強さを感じたいに違いない！」

塩田…「（困惑しつつも）でも、ターゲット層はどうするんですか？子どもたちに受け入れられるかどうか…」

汐「心配ご無用！例えばこの『伏せるグミ』！

（伏せているポーズのグミを見せる）子どもたちはこれを見て、スリルと興奮を感じるだろう！」

塩田…（心の声）さすが社長…発想がぶっ飛んでる。でも、これが本当に売れるのかしら…？」

シーン②：試食会

（試食会の会場。汐と塩田がステージに立ち、目の前には多くの試食者がいる。大人や子ども、外国人観光客、日本人観光客などさまざまな人々が集まっている。）

汐「さあ皆さん、これが我が社の新作『軍人グミ』です！さっそく食べてみてください！」

（観客たちは恐る恐るグミを手に取り、口に運ぶ。すると…）

観客「(子ども)：「わあ、これ面白い！敬礼してる！」

観客♡(外国人)：「オーマイガー！イッツア
メイジング！レディー、アンド ソルジャー
トウゲザー！」

観客∞(大人)：「意外と美味しいじゃないか。
しかも形がユニークで笑える！」

観客△(日本人観光客)：「(笑いながら)こん
なユニークな形のグミ、初めて見たわ！しか
も味もいい感じ！」

塩田：「(驚いて)えっ：まさか、本当にウケ
てる：？」

汐：「(ニヤリと笑って)どうだ、塩田くん。
人々は驚きと面白さを求めているんだよ！普

通のグミじゃ飽き足りないんだ！」

塩田…「(感心して)社長の言う通りでしたね
…！」

シーン☹☹ オフィスにて (エンディング)
(オフィスに戻ってきた汐と塩田。塩田はま
だ驚いている様子。)

塩田…「社長、本当に驚きました。『軍人グミ』
がこんなにヒットするなんて…」

汐…「だから言っただろう、塩田くん。『面白
きことも無き世を面白く』ってね！次はもっ
とぶっ飛んだアイデアを考えようじゃない
か！」

塩田…「(笑いながら)もう、これ以上振り回
されないようにしなきゃ…でも、次も楽しみ
です！」

汐…「よし、次は『忍者グミ』だ！どうだ、手裏剣投げのポーズとか…！」

塩田…「(慌てて) 社長、それはまた別の会議で！」

(二人の笑い声がオフィスに響く中、シーンがフェードアウト。)

終わり